

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

平成26年度(2014)

事業計画

目 次

平成 26 年度 (2014) 事業計画	1
公益目的事業	2
芸術文化事業	2
出雲総合芸術文化祭事業	2
出雲芸術アカデミー事業	3
博物館事業	5
展示事業	5
出雲和文化交流会事業	7
地域芸術文化活性化事業	7
呈茶事業	9
文化財保存公開事業	9
貸館事業	9
出雲市民会館	9
ビッグハート出雲	10
平田文化館	10
大社文化プレイスうらら館	10
出雲文化伝承館	10
平田本陣記念館	10
管理施設の概要	10
収益事業	12
貸館事業	12
出雲市民会館	12
ビッグハート出雲	12
平田文化館	12
大社文化プレイスうらら館	12
出雲文化伝承館	12
平田本陣記念館	12
チケット販売等物販事業	13
大社図書館の管理運営事業	13

平成26年度(2014)事業計画

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、昨年4月1日、公益財団法人へ移行し、公益を目的とした芸術文化振興事業、博物館事業、指定管理施設の維持・管理と貸館事業を中心にした財団運営に努めてきたところです。

この間、指定管理更新に向け、新たな視点での指定管理申請事務や出雲市の施設設置管理条例の改正に伴う新利用料金に対応する新たな施設予約管理システムを導入するなど、財団としての統一的でスピーディーな事務処理体系を構築してきたところです。

平成26年度は、出雲市から新たに2カ年間の指定管理者の指定を受けることから、芸術文化事業、博物館展示事業、6施設の管理と貸館事業に誠実に取り組み、あわせて当財団の自主事業として地域芸術文化活性化事業を実施してまいります。

芸術文化振興事業においては、第20回を迎える出雲総合芸術文化祭事業とともに文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」に係る支援を積極的に活用し、これまで進めてきた出雲芸術アカデミー事業の一層の充実強化とともに、新たな分野への取り組みも進め、施設と一体となった事業の推進を図り、「音楽のまち 出雲」の一翼を担ってまいります。

また、芸術文化事業について、専門的立場からの指導や人材育成のため、講師を招へいし、質的な向上を目指します。

博物館事業においては、出雲文化伝承館と平田本陣記念館の連携を図った展示を企画するとともに、地域芸術文化活性化事業により、新たな地域文化の伝承・活用に向けた事業に組み込み、施設のもつ役割を十分に発揮し、出雲の生活文化の保存・伝承・公開に努めてまいります。

貸館事業においては、営利利用に係る割増料金制の定着に加え消費税の改定など、新たな料金体制のもとで円滑な貸館事業に心がけ、利用者のご要望に的確にお応えするとともに、一層の利便性の向上に努めてまいります。

平成26年度は、公益財団法人移行後2年目を迎え、一層の公益性の追求とともに当財団の自主性と安定した事業運営を目指して、理事長以下役職員一丸となり、芸術文化の振興に努め、地域貢献を果たしてまいります。

I 公益目的事業

1. 芸術文化事業

当財団では、出雲市の「21世紀出雲芸術文化のまちづくり条例」に基づいて策定された「出雲市芸術文化振興指針」を踏まえ、市の唯一の芸術文化振興事業を担う公益財団法人として、出雲総合芸術文化祭事業や出雲芸術アカデミーの企画・運営を通じて、芸術文化活動を積極的かつ重点的に推進しています。

昨年は出雲大社の大遷宮に呼応した「奉祝事業松竹大歌舞伎」をはじめ種々の芸術文化事業を展開し、多くの市民の皆さまから好評を得たところであります。

また、出雲市では中高校生による全国レベルのコンクールでの活躍や出雲芸術アカデミーの活動も随所においてその評価をいただき「音楽のまち 出雲」は今や出雲市のキャッチフレーズとして定着した感があります。

平成26年度は、出雲における芸術文化事業を力強く牽引していくために、市民ニーズの把握に努め、あらゆる機会、あらゆる場所を通じて上質な舞台芸術、演奏活動等を提供してまいります。

また、本年度はアカデミー事業において、国の「劇場・音楽堂等活性化事業」を活用し、日本舞踊を柱とする日本文化科の設置をはじめ芸術文化活動を担い支える人材の育成や市民の芸術文化事業への参加を促進し、地域の文化力の向上を図ります。

財団では、このような新たな取り組みの重要性を踏まえ、昨年度に引き続き人材育成事業として著名なホールへの財団職員の派遣研修の実施、また、市民を対象にした出雲ならではの舞台芸術を企画制作できる人材育成を目的に講師を招へいします。

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

日本の伝統芸能を代表する歌舞伎など優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供したり、市民ニーズにそった質の高い芸術作品やイベントを企画することで、出雲ならではの芸術文化活動の促進を図っていきます。また、こうした年間を通じて多彩なメニューを提供し、地域における芸術文化の水準を高め、市民の様々な芸術文化活動への支援と積極的な参加を促します。

今年度は、第20回の節目となることから、「出雲の春音楽祭」や「わたしのうたコンサート」などの企画に工夫を凝らす他方、全体では招致事業5事業、自主・共催

事業7事業、展示事業2事業の計14事業を計画したところです。招致事業については、子供たちが優れた生の芸術作品に触れることで豊かな感性と創造性を育み、もって芸術作品の鑑賞能力を磨いた将来の観客層の育成を主眼において、親子で鑑賞できる事業を中心に招致事業の選定を行ったところです。

平成26年度(2014)第20回出雲総合芸術文化祭実施計画			
	開催月日(予定)	事業区分	公演等事業名
1)	6月29日(日)	招致事業	劇団かかし座「長靴をはいたねこ」
2)	7月12日(土)	招致事業	音楽の絵本コンサート
3)	7月27日(日)	自主事業	将棋フェスティバル
4)	8月2日(土)	自主事業	出雲囲碁フェスティバル
5)	8月31日(日)	共催事業	サウンドフェスタ大心路
6)	9月3日(水)	招致事業	松竹大歌舞伎
7)	10月18日(土)	招致事業	劇団四季ファミリーミュージカル
8)	11月8、9日(土、日)	自主事業	いずも音楽コンクール
9)	12月14日(日)	自主事業	わたしのうたコンサート
10)	1月11日(日)	自主事業	いずも新春コンサート
11)	2月27日～3月1日	展示事業	公募展優秀作品展
12)	2月27日～3月1日	展示事業	工芸展
13)	3月29日(日)	自主事業	出雲の春音楽祭2015
14)	(未定)	招致事業	いっこく堂スーパーライブ

(2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは平成17年10月に開設され、子どもの頃から芸術文化に触れ、学ぶことができる機会を提供し、芸術文化を通して創造性と感性豊かな青少年の育成を図ることと、地域の芸術文化を支える指導者の育成及び広く市民の積極的な芸術文化活動への参加を促進することを目的としています。

音楽院では幼児から高齢者までを対象に器楽、声楽の講座を継続して実施し、成果発表の演奏会を開催します。また、音楽研究院では講師の技術研鑽に努め、市内学校、福祉施設等へのアウトリーチ活動を充実します。

本年度は、文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」を活用し、日本文化の普及と

発展を目的に、日本舞踊が学べる日本文化科（仮称）を新設し、「出雲の春音楽祭・オーケストラと日本舞踊の祭典」に繋げてまいります。

〈講座事業〉

- ・ 幼児 親子リトミックコース（3歳児、4～5歳児、6歳児） 通年
- ・ 本科 リトミックコース（音楽入門、小学1～3年生） 通年
合唱コース（合唱 小学生4年～高校2年生） 通年
オーケストラコース（入門、オーケストラ 小学生～高校生） 通年
- ・ 別科 コーラス・レパートリー（18歳以上） 通年
オーケストラ・レパートリー（18歳以上） 通年
邦楽合奏（18歳以上） 通年
- ・ 特別講座 日本文化科（仮称）

〈演奏会等事業〉

- ・ 第9回ファミリーコンサート（4月20日、大社文化プレイスうらら館）
- ・ 出雲フィルハーモニー交響楽団第18回定期演奏会（7月21日、出雲市民会館）
- ・ 出雲 Jr. フィル プロムナード・コンサートⅡ（11月16日、うらら館）
- ・ うたなかまこんさーと2015（1月18日、うらら館）
- ・ アウトリーチ活動
市内の幼稚園、保育園、小学校や病院、福祉施設等35ヶ所程度に出雲芸術アカデミー講師が出向き、演奏や指導を行います。
音楽芸術への関心と興味、また知的満足感や情緒の安定をもたらすとともに、アカデミーの広報と裾野の拡大を目指します。
- ・ 指導者育成支援事業
音楽研究院にて学術研究、指導者育成、音楽芸術活動支援を行う。

(3) 出雲メセナ協会の事務局に関する事務

出雲メセナ協会は、平成10年に、出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に設立されました。主な活動は、会員の会費を原資とした出雲地域で開催される芸術・文化活動への財政支援などです。

〈組織〉 会員数 230名（平成25年12月31日現在）

役員 会長1名、副会長2名、理事10名、監事2名

〈事業〉 ① 芸術・文化活動財政支援事業（年2回募集）

② 基金事業・・・小中学校等への芸術家派遣事業

③ P R 事業・・・メセナだよりの発行（年1回）

2 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）

出雲市の歴史、民俗、美術工芸に関する資料の収集、保管、及び展示に関する事業を出雲文化伝承館と平田本陣記念館の連携のもとで実施するとともに、日本の伝統文化に触れる機会を提供するほか、講演会、研修会等文化の推進に関する事業を行います。

(1) 展示事業

郷土ゆかりの美術工芸品の展示会を次のとおり開催します。

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
没後 200 年 小林如泥とその道統 -出雲の指物、木工芸-	4 月 1 日（火）～ 5 月 11 日（金） 《公開 40 日》 出雲文化伝承館	小林如泥は不昧公のお好み物を製作した細工師で、その優れた糸透かしや、曲げ物の技術には今日でも驚嘆させられます。如泥の没後 200 年を記念して、江戸から昭和までの出雲松江地方の指物師や木工芸家を顕彰します。約 60 点を展示予定。
大正昭和の美人画家たち	4 月 5 日（土）～ 5 月 25 日（日） 《公開 44 日》 平田本陣記念館	大正昭和の「美人画」は、浮世絵の流れをくみます。美人画家として著名な鏑木清方、伊東深水、挿絵画家として人気のあった夢二、華宵らの作品を紹介します。

<p>長谷川摂子展</p>	<p>前期展 6月7日(土)～ 7月27日(日) 後期展 8月2日(土)～ 10月5日(日) 《公開100日》 平田本陣記念館</p>	<p>長谷川摂子氏は出雲市平田町出身の日本を代表する児童文学作家の一人です。長谷川氏は深い見識により、優れた絵本も創作しました。没後3年目にあたりその功績を顕彰します。</p>
<p>出雲の社寺宝物展</p>	<p>5月31日(土)～ 7月6日(日) 《公開32日》 出雲文化伝承館</p>	<p>出雲市の社寺には優れた絵画、工芸品があります。郷土の神社、寺院に伝わる宝物を紹介し、歴史や文化を考察します。</p>
<p>有馬侃 展</p>	<p>7月19日(土)～ 9月23日(火) 《公開60日》 出雲文化伝承館</p>	<p>郷土を代表する洋画家・有馬侃氏は森田茂(芸術院会員)に師事し、東光展、日展等で活躍した。日展では特選を2回受賞し、審査員をつとめ、晩年には東光会理事長の重責を担った。改めて画伯の芸術を紹介します。</p>
<p>大衆文化美術展</p>	<p>10月18日(土)～ 11月23日(日) 《公開32日》 平田本陣記念館</p>	<p>大衆文化の黎明期を築いた代表的作家をはじめ、国内の著名な作家の美術工芸の作品を展示いたします。</p>
<p>出雲焼の美</p>	<p>10月18日(土)～ 11月24日(月) 《公開41日》 出雲文化伝承館</p>	<p>出雲焼とは江戸時代の藩窯であった楽山焼と布志名焼の総称です。これらは不昧公の指導によって洗練されていきました。このたびは江戸時代から明治時代に作られ、座敷や茶室で用いられた出雲焼の優品を展示します。</p>

尾久彰三コレクション 観じる民藝(出雲文化伝 承館・平田本陣記念館共 同開催)	12月13日(土)～ 2月1日(日) 《公開37日》 出雲文化伝承館 平田本陣記念館	尾久氏は日本民藝館の学芸員として長 年勤務し、自らも優れた民藝のコレクシ ョンを所蔵しています。その研ぎ澄まされ た眼で収集されてきた民藝を展観し ます。
平田の書画展	3月1日(日)～ 3月22日(日) 《公開19日》 平田本陣記念館	平田は、幕末明治期に発展し、文化人も 活躍し、文人墨客も訪れ貴重な作品がの こっています。この度は館蔵品を中心と して平田ゆかりの書画等を紹介します。
早春にちなむ名品展	3月21日(土)～ 3月31日(火) 《公開9日》 5月中旬まで 出雲文化伝承館	早春にちなむ美術工芸の名品を展示し ます。会期中には恒例の早春の茶会を 予定。
アートフェスティバル	2月7日(土)8日(日) 平田本陣記念館	市内幼稚園児から高校生の作品の発表
市内在住作家作品展	平田本陣記念館	作品の発表の場の提供と、展示即売

(2) 出雲和文化交流会事業

市内の伝統文化関係団体の協力を得て、出雲和文化交流会との共催で11月には第12回目の「出雲和文化まつり」を文化伝承館で開催します。(茶会、いけ花展示、邦楽・日本舞踊発表等)

(3) 地域芸術文化活性化事業

伝統文化の普及、継承を目的に子ども教室、大人対象の教室、文化講演会等を開催します。新年度は、新たな教室として「出雲の本膳料理」講座を開催します。

また、寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料を調査、整理する郷土資料調査活用事業を実施します。

① 「出雲の本膳料理」講座事業

本膳料理とは室町時代に完成された武家の供応や冠婚葬祭用の献立の一部であ

り、出雲地方でもつい先頃までは冠婚葬祭は自宅で行われ、旧家などでは本膳料理が振る舞われてきました。本膳料理の膳や器、料理にはわが国の優れた食文化の要素が凝縮されていますが、今日ではその伝統を知る人も少なく、本事業により出雲屋敷を会場に、ハレの本膳料理を再現してその食文化（器と料理）の一端を継承しようとするものです。

この事業は5カ年を予定し、本膳料理をはじめとし、茶懐石、不昧公が創案したといわれる蕎麦懐石、本陣で供されたメニューの再現など出雲地方に伝わる伝統的な食文化の伝承と普及を目指します。

【事業内容】 講 話 「出雲の本膳料理を楽しむ」
本膳料理の調理・試食（2回）
会 場 出雲屋敷
調理師等 出雲市内の調理師に業務委託

②郷土資料調査活用事業

伝承館、本陣記念館が寄託を受けた歴史、文芸資料の整理、目録作り、撮影、解説を行い今後の展示事業への活用を図るため調査、整理を行います。

③平田本陣記念館絵本等教室講座

絵本についてのワークショップを開催するとともにしめ縄づくり教室を行います。

④出雲文化伝承館各種教室・講座

ア. 伝承館こども教室

夏休みなど子どもたちの学校休業期間を中心に、絵画、陶芸など様々な美術、工芸、伝承遊びなどを体験する教室を開催し、出雲の将来を担う子どもたちの感性を育て、郷土愛を深めます。

（和菓子作り・お抹茶体験教室、学校茶道合同茶会、やきもの教室、水彩画教室、郷土を知ろう！楽しもう！、折り紙教室、いけばな教室、民話・昔話を楽しもう、正月遊びなど）

イ. 伝承館文化講座（一般対象）

絵画、陶芸教室などの芸術文化、伝統文化を体験する講座を開催し、その理解と普及を図ります。

(絵画教室、香道教室、やきもの教室、見直そう！和の智恵 風呂敷を楽しむ、
掛け軸、文化講座等)

(4) 呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、
出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館でそれぞれ庭園を鑑賞しながらお
抹茶を味わっていただきます。(12月～2月は休業)

(茶道各流派の茶会等及び学校児童等による茶道催しに施設を貸し出す。)

(5) 文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市の指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と利用
活用を図り、出雲流庭園・独楽庵と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努め、
来館者に落ち着きとくつろぎを提供します。また、平田本陣記念館では県内では稀
に残っている御成り屋敷と庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹
介します。

3 貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、より多くの市民に親しまれ
る地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体により上質な演劇や演
奏を鑑賞する機会、また、広く市民を対象とした講演会や発表会の場を提供し芸術
文化の振興を図ります。

施設の貸し出しにあたっては、当該館の施設のみならず他館の特徴もよく掌握し、
利用者のご要望にお応えするとともに適切かつ効率的な貸し出しに努めます。

また、施設建設後の年数が経過していることから、建物、設備、備品ともに維持
管理が特に重要となってきています。保守・点検と大事に至る前の小修繕を適時適
切に行ってまいります。

(1) 出雲市民会館

出雲市内のメインホールとして、1, 210席の大ホール、大小多くの会議室、
展示室など、専門性の高い劇場として、多くの観客が入場できるホールとして、ま
た会議・会合・展示会など会館として、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用
いただけるよう努めてまいります。

(2) ビッグハート出雲

J R出雲市駅南側という立地の良さと341席の白のホール、各種スタジオ、文化サロンなど、多彩な施設を活かし、多様な目的にご利用いただけるよう、利用者のご要望にお応えします。また、立地を活かして市民の文化交流の場となるよう財団の自主事業を実施します。

〈アートギャラリー活用事業〉

文化サロンを拠点に活動する団体の成果発表の場とし、広く市民に紹介します。

ア. 展示体験 押し花、樹脂粘土、手芸、生け花、ひなまつり

イ. 音楽 大正琴の演奏と体験、弦楽合奏団、ホルンアンサンブル演奏、合唱

(3) 平田文化館

プラタナスホールは、電動観覧席により406席から813席まで設定できること

から多目的ホールとしての機能を有し、小ホール、和洋会議室をあわせて地域の文化活動の拠点として、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(4) 大社文化プレイスうらら館

600席のだんだんホール、200席のごえんホールを擁した市内の中規模ホールとして利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

また、大社図書館との複合施設である特徴を活かした地域の文化活動の拠点として、そして、地域文化団体との連携を活かして貸館事業を推進します。

(5) 出雲文化伝承館

出雲屋敷、企画展示室、茶室「松籟亭」、文化工房・縁結び交流館の公開と貸出について、利用者のご要望にお応えしつつも貸出については出雲の文化を伝承する目的から適切に対応することとし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(6) 平田本陣記念館

本陣記念館として本館、展示館、茶室等の公開と貸出しについて、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(7) 管理施設の概要

管理施設名	所在地	利用内容
-------	-----	------

出雲市民会館 (塩冶有原町 2 丁目 15)	大ホール(1,210 席)	当財団及び市民が企画する芸術文化の発表の場、小・中・高校生の音楽練習の場並びに講演会等に利用
	展示室(243 m ²)	各種の美術品等の展示に資する施設
	多目的室(82 m ²)	音楽団体等の練習会場、会議用、展示用
	会議室(5 室)	セミナーや講座の開催、企業や団体の会議・研修用
ビッグハート出雲 (駅南町 1 丁目 5)	白のホール (341 席)	学会、講演会、研修会、コンサート、教室・学校の発表会、音楽練習ほか
	白のホール控室(54.34 m ²)	
	茶のスタジオ(122.47 m ²)	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか
	黒のスタジオ(139.48 m ²)	舞踊・ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	アートギャラリー(263.78 m ²)	市民の作品展示ほか
	会議室(60.67 m ²)	会議、面接、研修会ほか
	練習室(25.21 m ²)	個人練習、バンドの練習、レッスン、ワークショップほか
	レセプション(91.2 m ²)	会議、研修会、レセプションほか
	文化サロン(183.50 m ²)	ミーティング、作業、市民、各種団体の相互交流の場
平田文化館 (平田町 2112 - 1)	プラタナスホール(406 席～813 席)	講演会、研修会、コンサート、映画上映会、写真・書・絵画作品展・、いけばな展示会
	小ホール(110 席)	講演会、会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、絵画作品展
	会議室(2 室)	会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、民芸品・山野草展示会等
	和室(2 室)	会議、研修会、控室(楽屋)等
うらら館 (大社町杵築南 1338 - 9)	だんだんホール(600 席)	講演会会議等、音楽会・発表会、映画、演劇ショー、歌謡曲、クラシック、伝統芸能、練習、その他

	ごえんホール (200 席)	講演会会議等、音楽会・発表会、歌謡曲、クラシック、作品展示、伝統芸能、練習、コンクール、その他
	会議室 (3 室)	会議、研修会、レセプションほか
出雲文化伝承館 (浜町 520)	出雲屋敷 (356.6 m ²)	見学、茶会、結婚披露宴ほか
	茶室「松籟亭」(150.82 m ²)	呈茶、茶会、香会
	文化工房 (438 m ²)	いけばな展示、子供教室作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m ²)	企画展、特別展等
	縁結び交流館 (503 m ²)	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダンス、軽スポーツほか
平田本陣記念館 (平田町 515)	本館	花生け展、茶会、地域イベントほか
	展示館	美術品等展示
	茶室	茶事ほか

II 収益事業

1. 貸館事業

次の(1)から(6)までの施設の貸出においては、営利を目的とするホールの使用や物販等の利用のための貸出を収益事業とし、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

- (1) 出雲市民会館 : ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室、研修室、学習室
- (2) ビッグハート出雲 : ホール、スタジオ、会議室、スタッフ控室、アートギャラリー、文化サロン、レセプションスペース
- (3) 平田文化館 : ホール、楽屋、会議室、和室
- (4) うらら館 : ホール、楽屋、テラス、ラウンジ、学習室、会議室
- (5) 出雲文化伝承館 : 展示室、茶室、指定文化財庭園等、多目的ホール
- (6) 平田本陣記念館 : 本館、展示室、茶室

2. チケット販売等物販事業

- (1) 各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。
- (2) 企画展などにおいて、受託販売物や図録等の販売を行います。
- (3) 第三者が行う自動販売機の設置を認め、販売手数料を得る事業を行います。

3. 大社図書館の管理運営事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である大社図書館の清掃、空調整備、修繕、消防点検、及び警備等の管理運営を適正かつ効率的に行います。